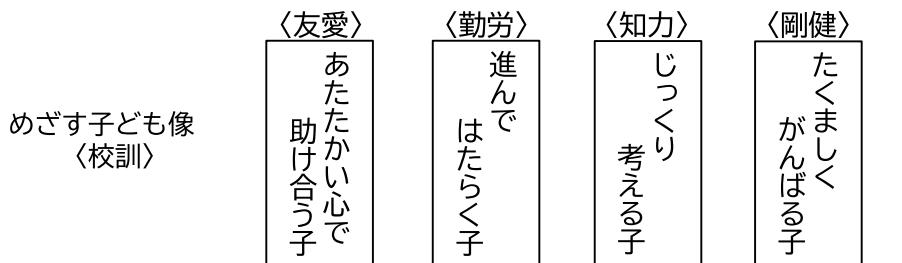


令和7年度 木次小学校の教育

学校教育目標

ふるさとを愛し 心豊かに 互いに高め合っていく子どもの育成



学校経営目標

子どもたち誰もが、安心し落ち着ける環境の中で、
意欲的に活動し、主体的に課題解決に取り組む学校

誰もが安心・ 落ち着ける環境

めざす学校像

- ・しっかり話を聞いてもらえる
- ・集団ルールが守られている
- ・生活・学習環境が整っている

意欲的に 活動する環境

- ・一人ひとりの活動の場が保障されている
- ・学習への意欲がわく授業が展開されている
- ・集団力が高まっている

主体的に 課題解決する環境

- ・課題を見付け、解決に向けて考えている(学習、ふるさと教育)
- ・生活上の課題を自分たちで改善し、解決できる

自尊感情・自己肯定感の高まり

- 確かな学力の定着に向けた授業改善
→一人ひとりの実態を踏まえた指導の充実(学力調査、たづじんテスト等の活用)
→ I C T 活用・D C 教育の推進
→図書館活用の推進

- 「夢」発見プログラム、ふるさと教育の推進

- 体力向上の取組の充実
→全校マラソン・縄跳びの取組

- 安全教育の充実
→防災学習、避難訓練等の取組

- 基本的生活習慣の定着に向けた取組
→メディアとの関わりを重点に

経営の重点

知

体

- 一人ひとりを大切にする人権・同和教育の推進

- 適時適切で組織的、積極的な生徒指導
→「人の話を聞く」・「元気な挨拶」の重点的指導

- 一人ひとりの自立に向けた特別支援教育の推進

- 自主性・主体性、集団力を伸ばす特別活動の充実
→児童がつくる学級活動(話合い)・児童会活動の推進

地域の教育力の積極的な活用
～ひと・もの・こと～

保・幼・こ・小・中との連携、
一貫教育「木次の子どもを育てる会」

保護者・地域からの信頼、理解・協力